

6年生

6年1組 重なる“知層”、紐解く歴史 ～土地のつくりと変化～

立野小学校が建っている土地がどのようにしてできたのかについて、モデル実験の結果、露頭の観察、資料で調べたことを基に考察し、表現するなどして粘り強く他者と関わりながら問題解決できることを目指しました。

本時では、これまで学習して分かったデータを総合して「12万年前に海面が上昇して地層が積み、海面が下降した後、土地が削れてV時の土地になった」と考えました。講師の八嶋先生から、「時間の流れに着目し、何十万年も自分の中で想像して物語をつくることができている。」と価値付けていただきました。



6年2組

生きることは♡息ること～人の体のつくりと働き～

吸った空気と吐いた空気の成分はどれくらい違うのか、教材用デジタル気体測定器を使って呼気と吸気の酸素と二酸化炭素の割合について調べ、呼気は酸素が減り二酸化炭素が増えていることについて考察したことを表現するなどして、粘り強く他者と関わりながら問題解決できることを目指しました。

本時では、全ての班の結果を見て、「多少のずれはあるけれど、この数値なら全班の結果を平均して考えても良い」「二酸化炭素の1、2%のずれは結構大きいのではないかな？本当に平均しても良いのかな」と考えました。講師の八嶋先生から、「出てきたデータを吟味し、彼らの中で何度も議論していた。エビデンスベースで語る子どもたちの姿が見られた。」と価値付けしていただきました。



6年3組 金属も溶かす水?! ~水溶液の性質~

塩酸に溶けて変化した「鉄ではない物」の重さはどのように変わっているのか、複数の実験結果を基にして、最初に入れた鉄より重くなっていることについてより妥当な考察を表現するなどして問題解決することができるようになりました。

本時では、結果を基に、「出てきたものの重さは重くなっている。」という結論を導くことができました。今までの複数の実験結果から、今回の「溶ける」は「氷が水になる」「食塩が水に溶ける」という「溶ける」とも違う感じ、という考察をすることができました。

